

【NTR】

**僕の彼女(先輩)が
寝取られ快樂堕ち
するお話**

【基本CG】

10枚+α

【本編】

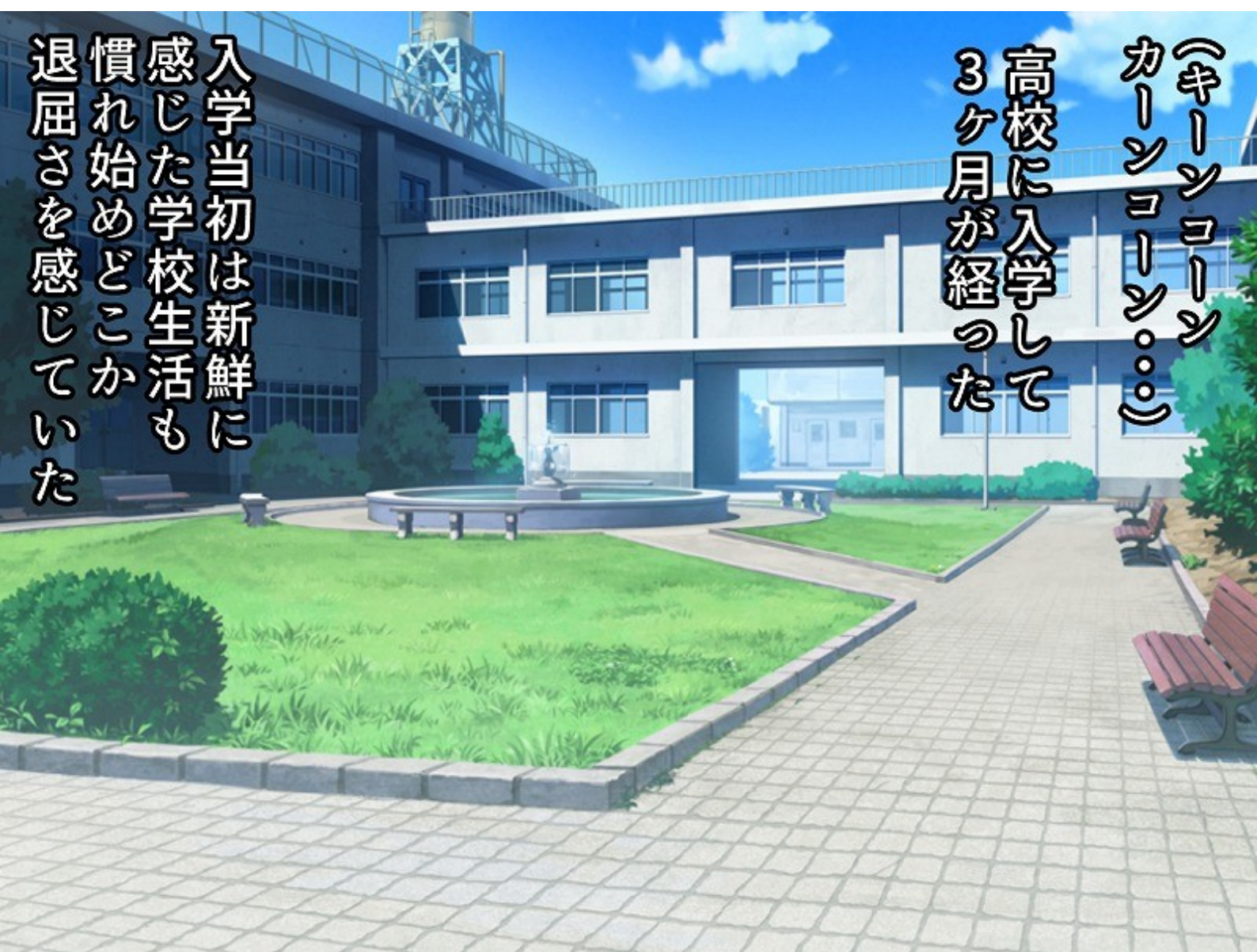
179枚



(キーンコーン
カーンコーン……)

高校に入学して
3ヶ月が経った

入学当初は新鮮に
感じた学校生活も
慣れ始めどこか
退屈さを感じていた





えー、先生から
最近不審者の
目撃情報が
あるらしい
十分に気をつけ
知らない人には
近づかないように

他になにかある人！
：無ければ今日の
ホームルームは以上

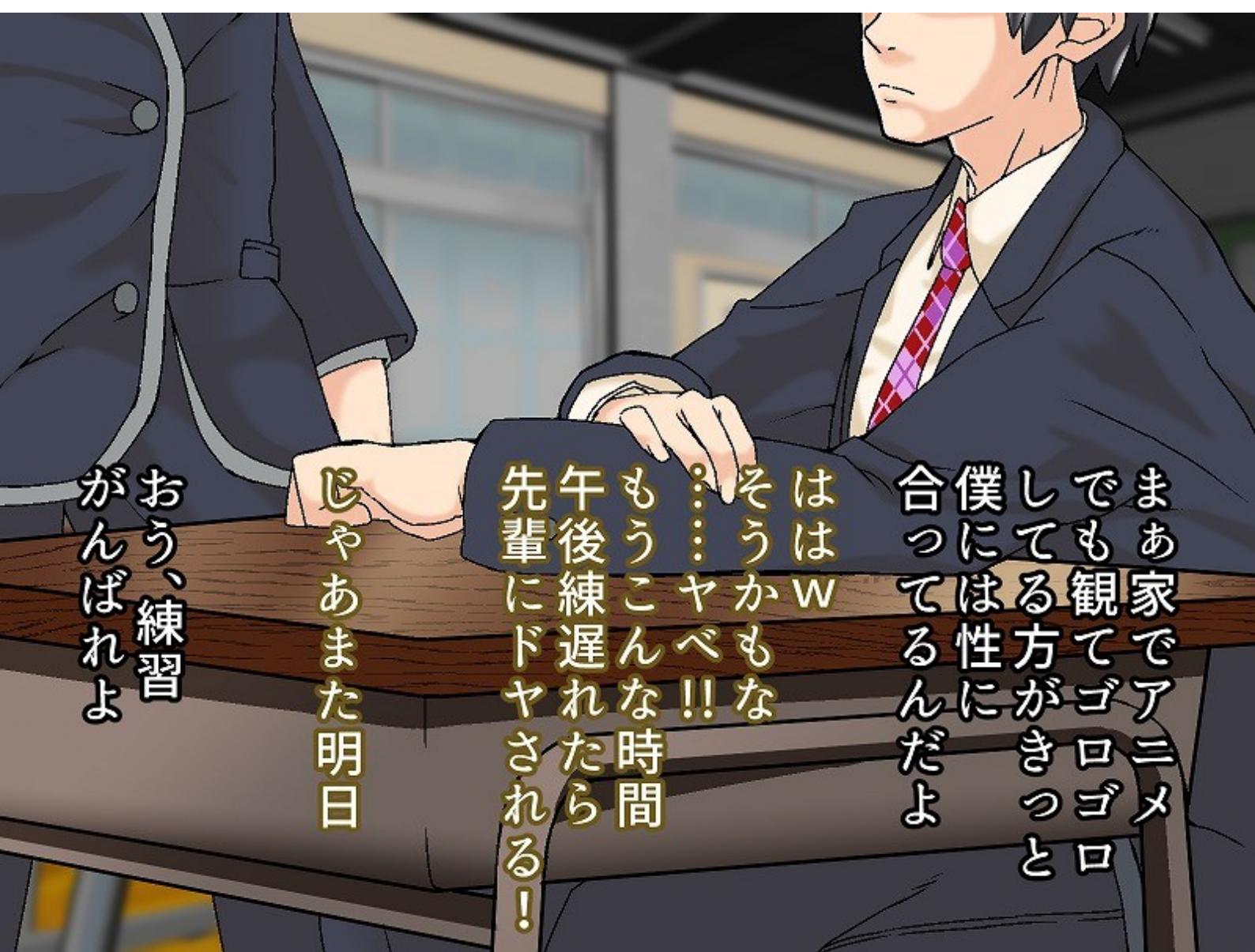


なあ、ユウキは
部活入らないの？

んー疲れるし
帰宅部でいいよ
別にやりたいこと
もないしなー…

なにかしら
打ちこめる趣味は
作っておいた
方がいいぞ？
放課後ヒマだろ

すっごいヒマ



まあ家でアニメでも観てゴロゴロしてる方がきつと僕には性に合ってるんだよ

ははW
そうかもな
……ヤベ!!
もうこんな時間
午後練遅れたら
先輩にドヤされる!

じゃあまた明日

おう、練習がんばれよ



放課後の教室
気付けば僕以外
誰もおらず教室は
静寂に包まれた

……そうだ
図書室で小説でも
借りていこう
なんでも今度
アニメ化する
ライトノベルが
入ったらしい

荷物をまとめ
教室を出る

渡り廊下を過ぎ
左折した先の
階段を登ると
そこに図書室は
あった

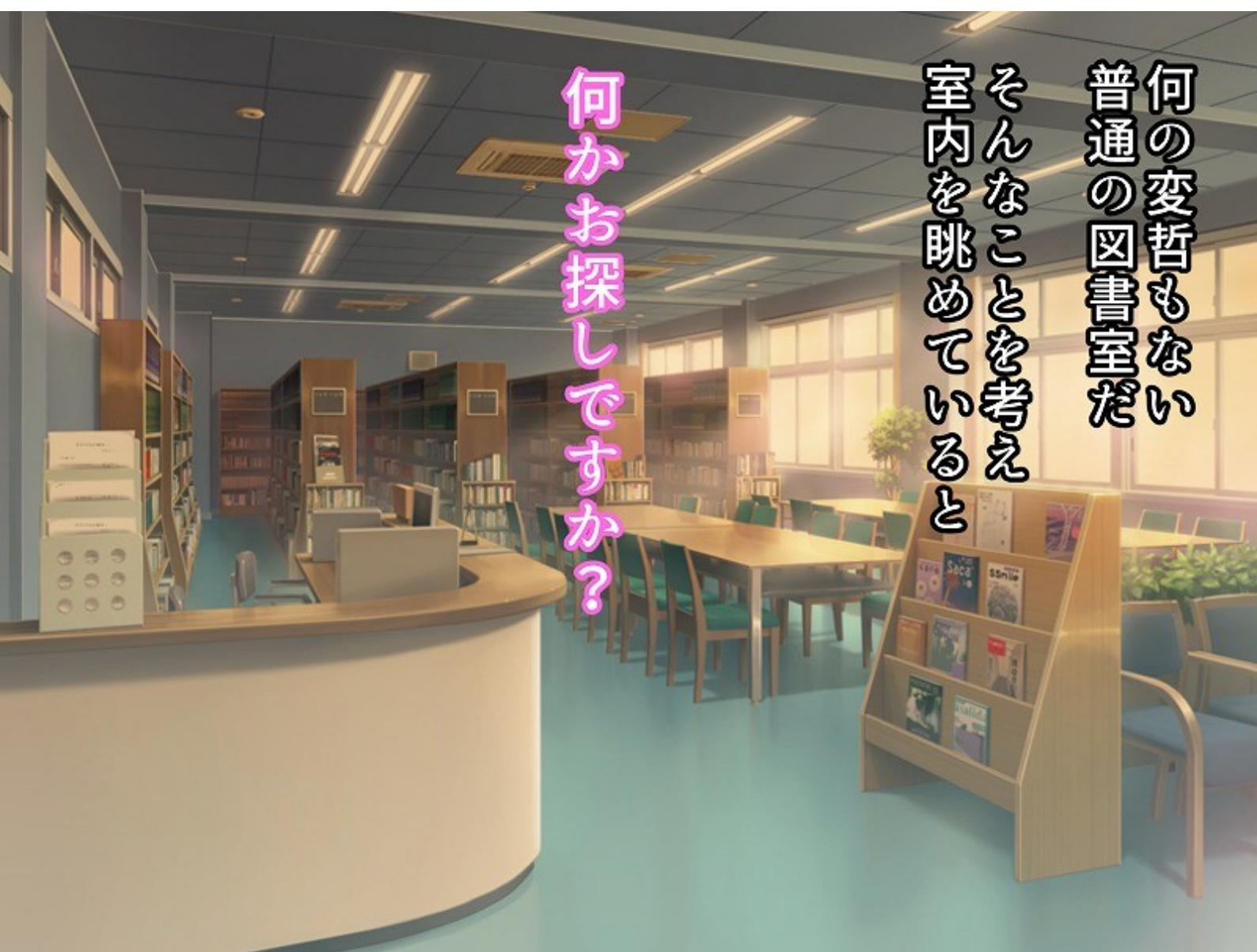
そういえば
入学してから
今まで来たこと
なかったな

未開拓の地に
足を踏み入れる
そんな期待感を抱き
僕はドアを開ける

何の変哲もない
普通の図書室だ

そんなことを考え
室内を眺めていると

何かお探しですか？





僕が驚いた
その反応に
今度は声の主が
声をあげた

!!
キ

あっ驚かせて
すみません!!

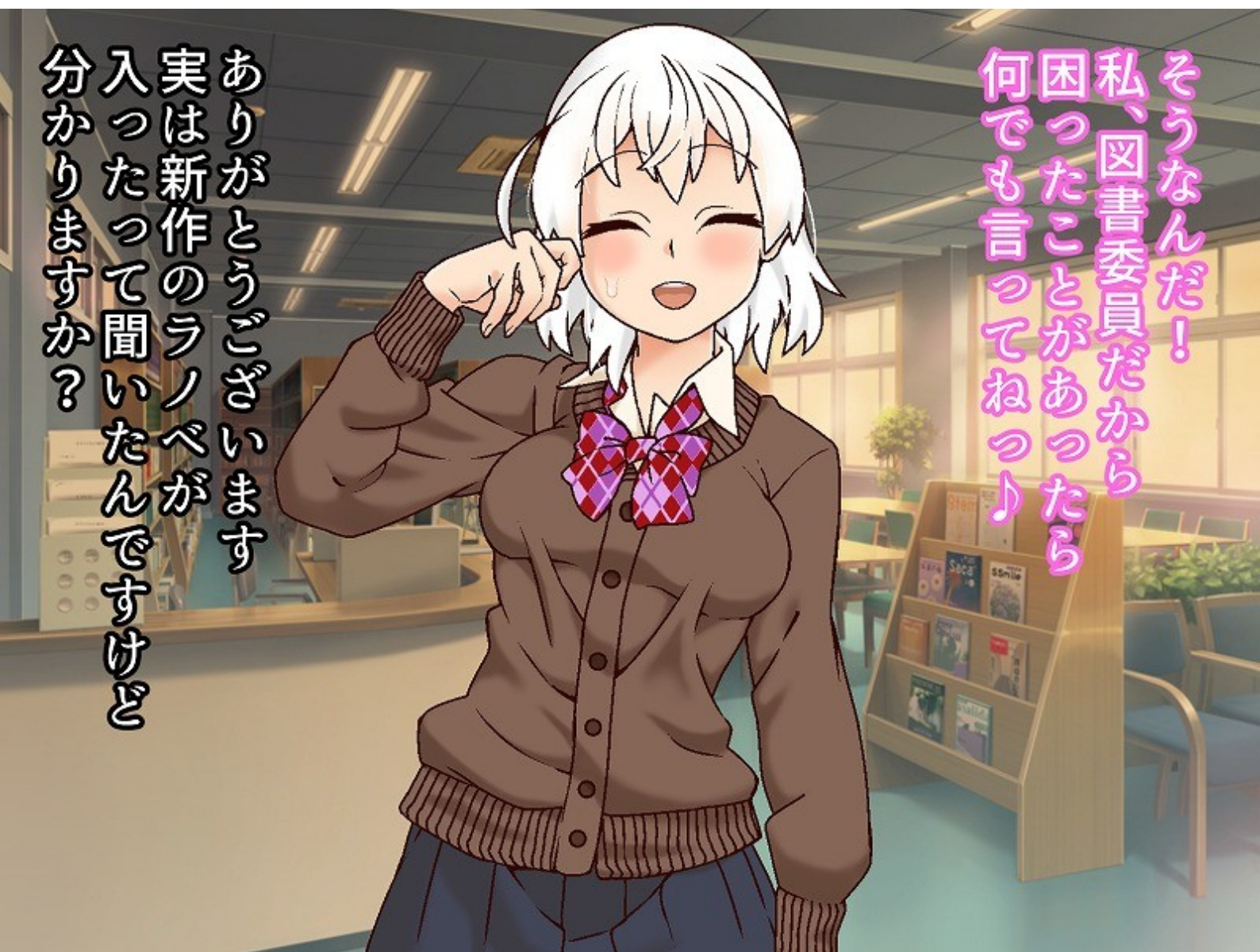
つい大きい声
出しちゃって
てつきり誰も
いないかと!!

!!
キ



そうなんだ！
私、図書委員だから
困ったことがあったら
何でも言ってねっ♪

ありがとうございます
実は新作のラノベが
入ったって聞いたんですけど
分かりますか？



ちよつと待ってて

先輩がパソコンで入荷情報を調べる

うーん：調べたけど特にそういった
タイトルは入ってないかな：

図書館か本屋と聞き間違え
たんじゃないかな？

冷静に考えれば確かに：



ふふっ図書室はラノベも漫画も
流石に置いてないかなw

わ、笑わないでくださいよ
恥ずかしくなってますからッ

×

ごめんごめんw
でも可笑しくツて……

代わりに私のオスメの
小説を後輩君に教えてあげるよ



え、でもあんまり分厚いのは…

厚くない！活字苦手でも
読みやすいの選んで
あげるからッ！

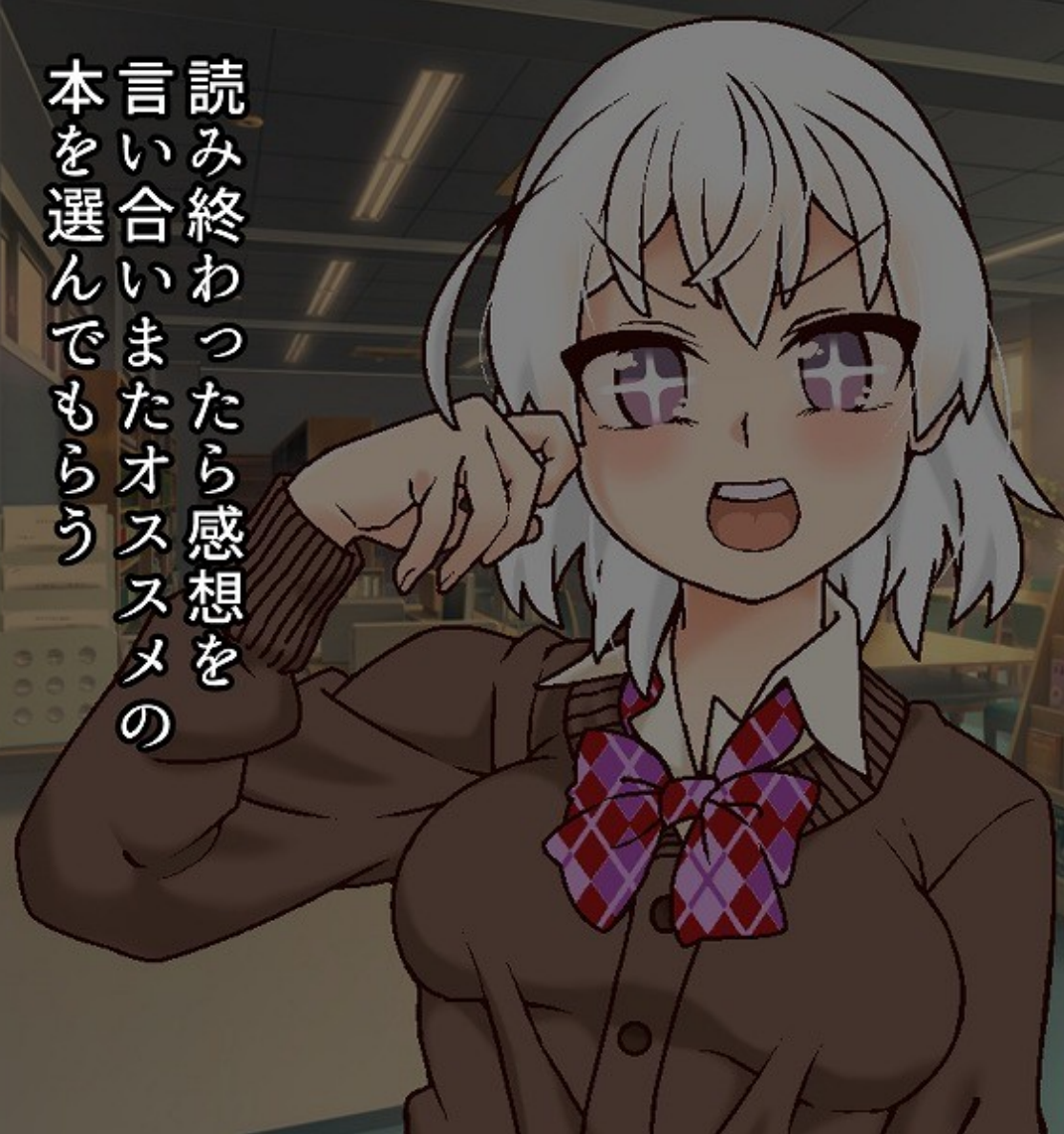
えっ…はあ、それじゃあ
よろしくお願いします

うんうんっ！先輩に任せてッ！
後輩君好みの選んであげるね！



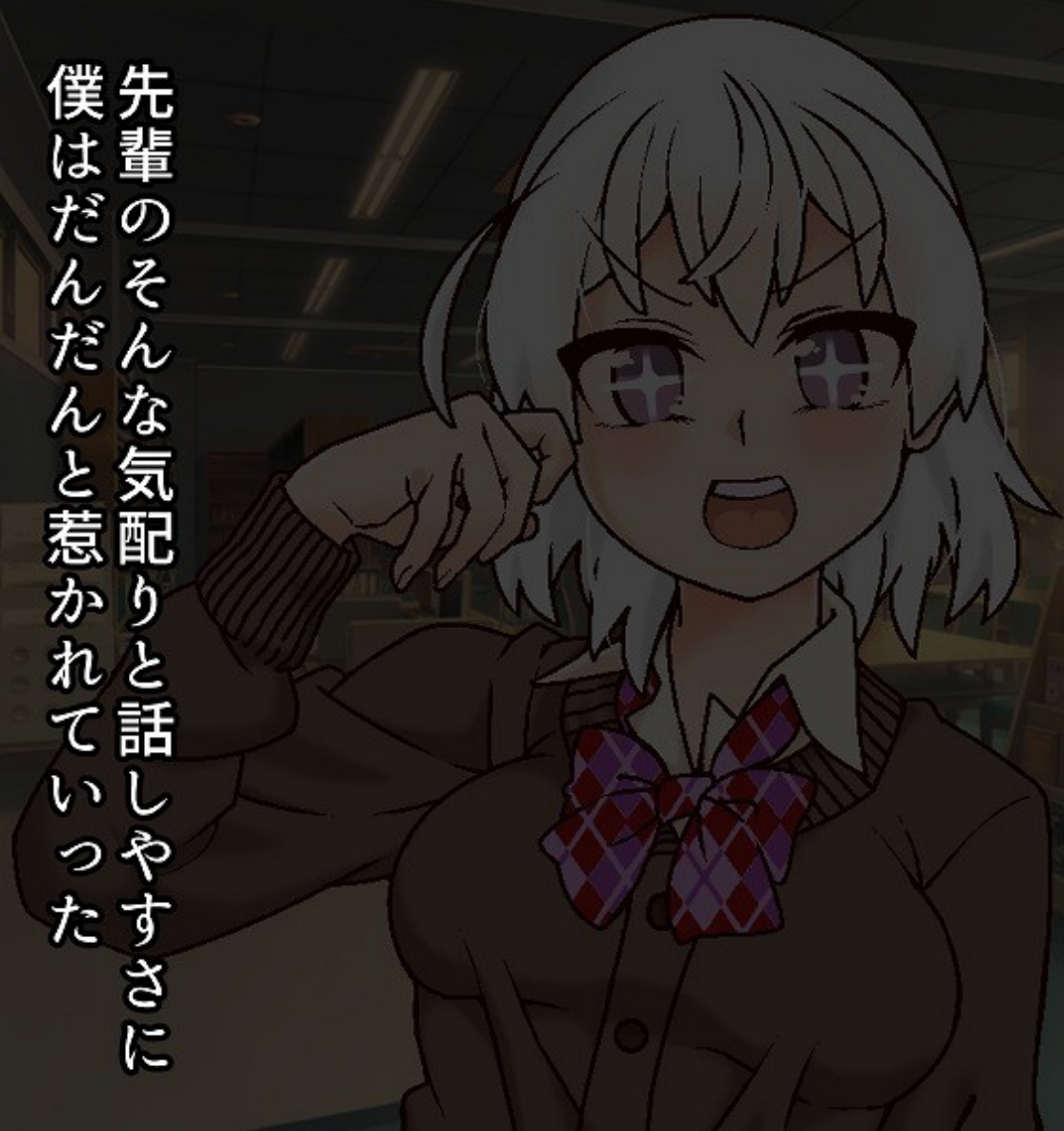
そんなこんなで僕の
放課後に日課が出来た
先輩が本を薦め
僕がそれを読む

読み終わったら感想を
言い合いまたオススメの
本を選んでもらう



先輩が進める本はどれも面白く
僕の為に読みやすい作品を
選んでるのが直ぐに分かった

先輩のそんな気配りと話しやすさに
僕はだんだんと惹かれていった



The image shows a modern library interior. In the foreground, there is a curved, light-colored service desk. Behind it, several long wooden study tables are arranged with green chairs. The room is filled with tall wooden bookshelves filled with books. Large windows on the right side let in warm, golden light, suggesting late afternoon. The ceiling has recessed fluorescent lights and air vents. A small magazine rack is visible in the lower right foreground.

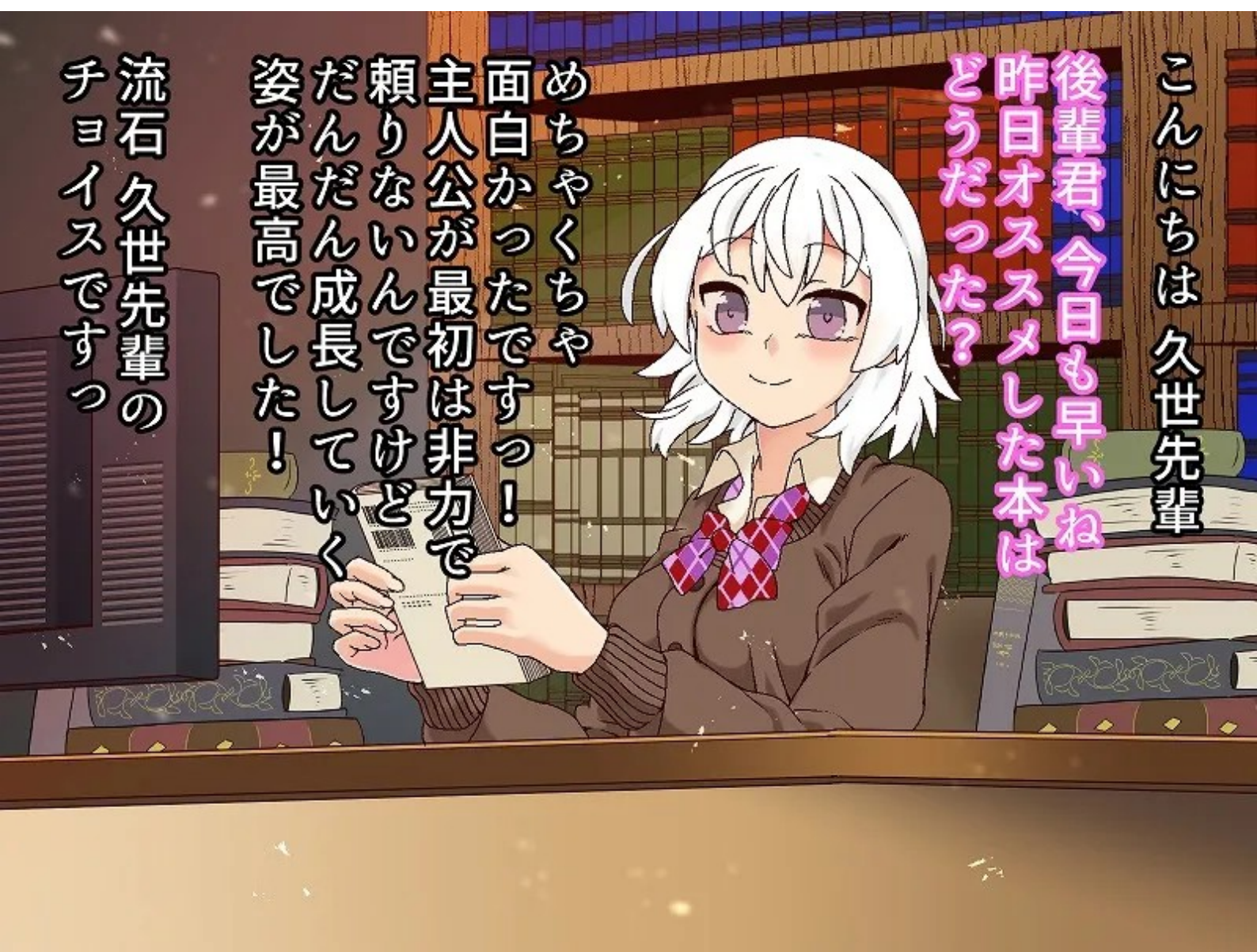
先輩との出会って
数ヶ月が経った
そしてある日の放課後
僕は今日も図書室に
足を運んだ

こんにちは久世先輩

後輩君、今日も早いね
昨日オススメした本は
どうだった？

めちゃくちゃ
面白かったですっ！
主人公が最初は非力で
頼りないんですけど
だんだん成長していく
姿が最高でした！

流石久世先輩の
チョイスですっ



それは良かった♪

同じ作者でこの本も
オススメなんだっ

この本の凄い所はね
推理小説なんだけど
捜査中に犯人視点で
描かれているの！



いつものように先輩と
本の感想を語り合う
しかし今日の僕には
別の目的があった



はあ、後輩君の感想は
私とは違う視点で
聞いてて面白いなあw

●
●
●
●
●
●



……あの、
久世先輩……

ん？何？



好きです
僕と付き合っ
てください！







カアアッ

ええええええええ!!

こ、後輩君

きゅきゅきゅっ

急にどうしたの!?

先輩と出会って漫然とした
僕の学校生活は一変しました

先輩の優しくて誠実で
面倒見が良くて
笑顔がかわいくて
そんな先輩が大好きです!



一生大切にしますッ
お願いします！





こちらこそ
よろしくお願ひしますっ
後輩君っ

やっ……
やったー!!



The background image is a digital illustration of a library. It features a curved white service desk in the foreground, a long wooden study table with green chairs, and tall wooden bookshelves filled with books. Large windows on the right side let in warm, golden light, suggesting late afternoon. The ceiling has recessed fluorescent lights and air vents. The floor is a light teal color.

打ちこめる趣味もなく
ダラダラと過ごしていた
僕に初めての彼女が出来た

それからまた
時は流れ僕は
高校生活初めての
夏休みを迎えた



久世先輩！歩くの
早いですって！

後輩君が
遅いんだよっ
せつかくの
海だよ！？

夏休みをもっと
楽しまなきゃ！

それはそう
ですけど…
急がなくても
海は逃げませんよ



見て見て！
後輩君と一緒に
選んだ水着
似合ってる？

ええ、とっても
かわいいです
（おっばい
大きいなあ…）

いっ
いっ
いっ



それより後輩君
また『久世先輩』
って呼んでる！

彼女なんだから
栞でいいのに！

あはは：でも
この呼び方が
しつくり
きちやって：

うくん、まあ
後輩君らしいかっ
じゃあ私も後輩君
って呼ぶから！

はい、実際
先輩ですし：





うわっ!!
着替えにまで
海水掛けないで
くださいよっ!?

あははははっ

：そりやっ!
隙ありっ!!

夏休み中僕は
遊び回った

冬休みはスキー場
にも行った

正月は二人で
初詣に行った

僕は充実した
日々を送っていた



1月6日
始業式
前日の夜



それじゃあ後輩君
私そろそろ帰るね

：久世先輩
今日はすいませんでした

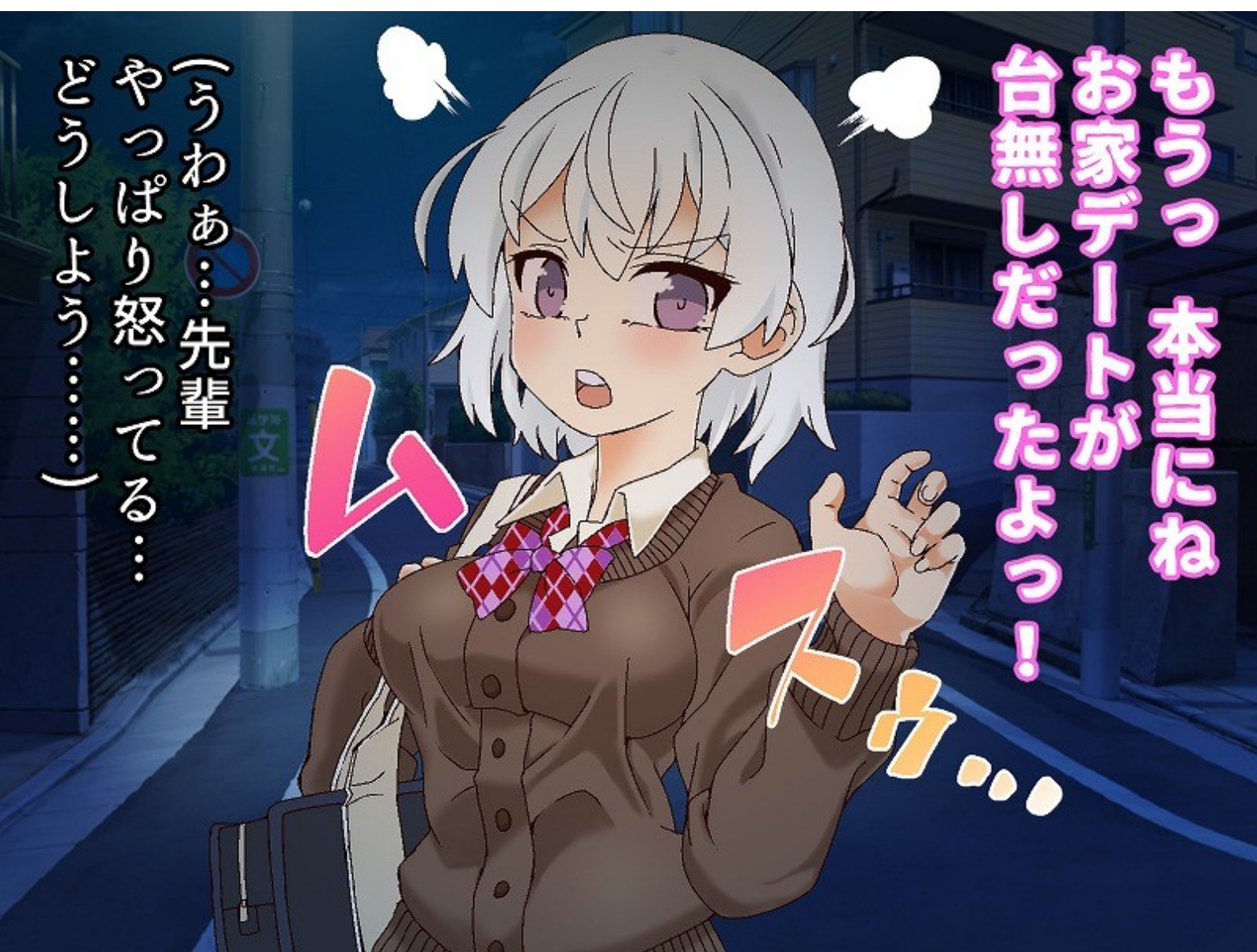
明日は始業式なのに
やり忘れてた宿題を
手伝って貰って：



もうっ 本当にね
お家デートが
台無しだったよっ！

ム
ストク...

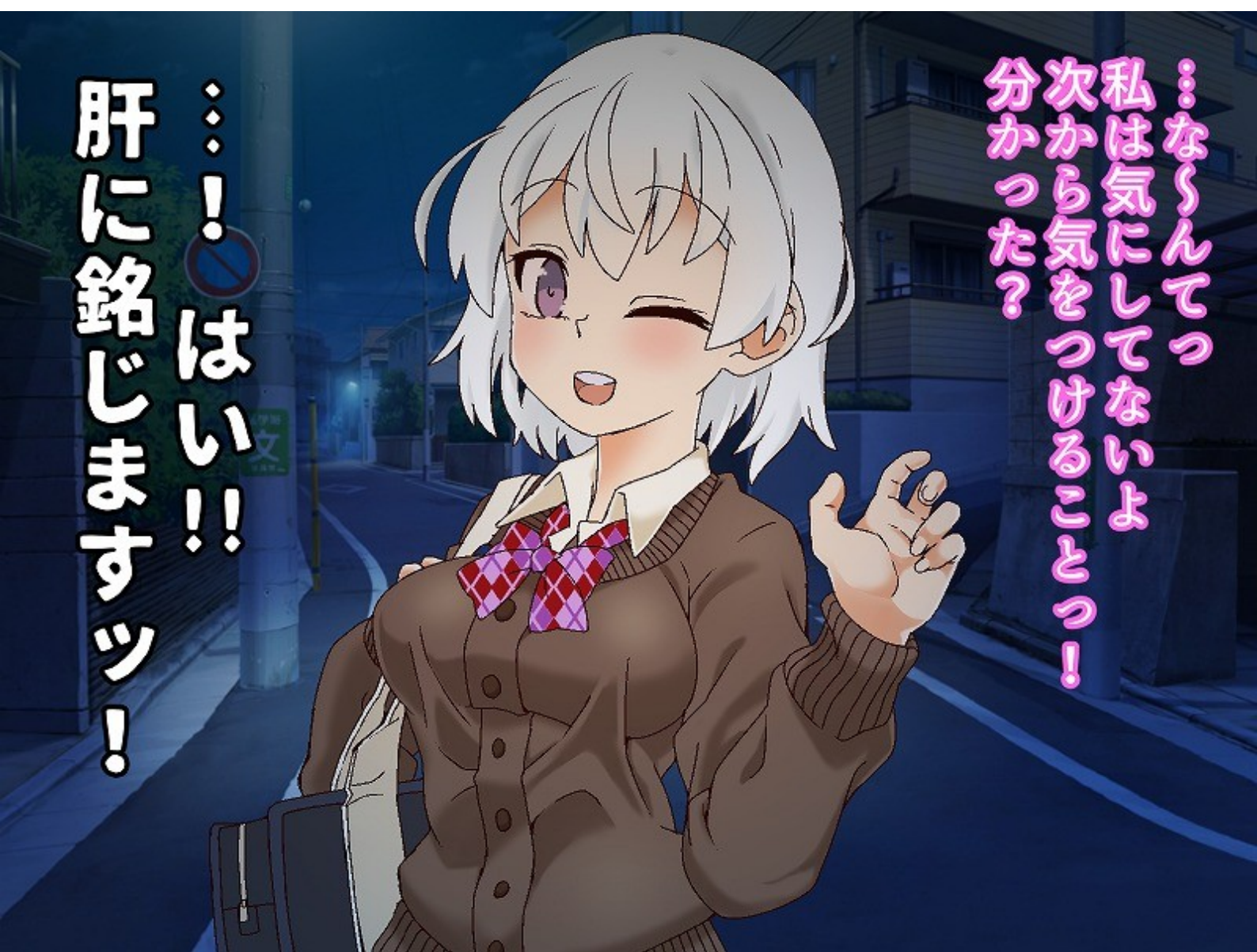
（うわあ…先輩
やっぱり怒ってる…
どうしよう…）



…な〜んてっ
私は気にしてないよ
次から気をつけることっ！
分かった？

…！はい！！

肝に銘じますッ！



また明日学校でね
おやすみ♪

はい！
おやすみなさいっ



今日も楽しかったなあ♪
明日は後輩君に何の本を
薦めようかなあ

ふーん
ふーん
ふーん♪



お姉さん：
そこのお姉さん！

は、はい？



すいませーんW
道に迷っちゃって……
ちよつといいですかア？W



あ……はい
大丈夫ですよ♪
ここに行きたいんですか？

……であれば
あつちに
まっすぐ進んで……





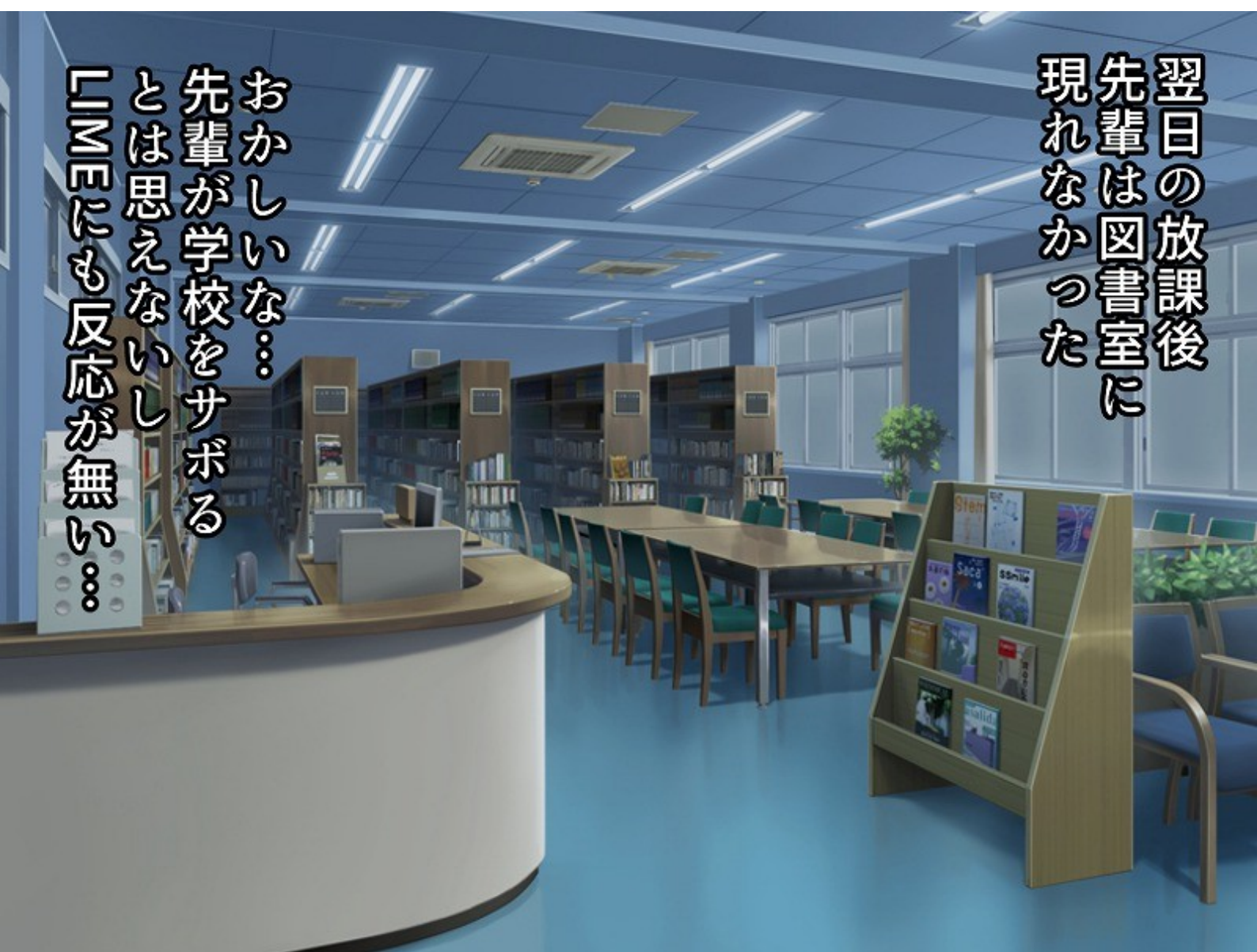






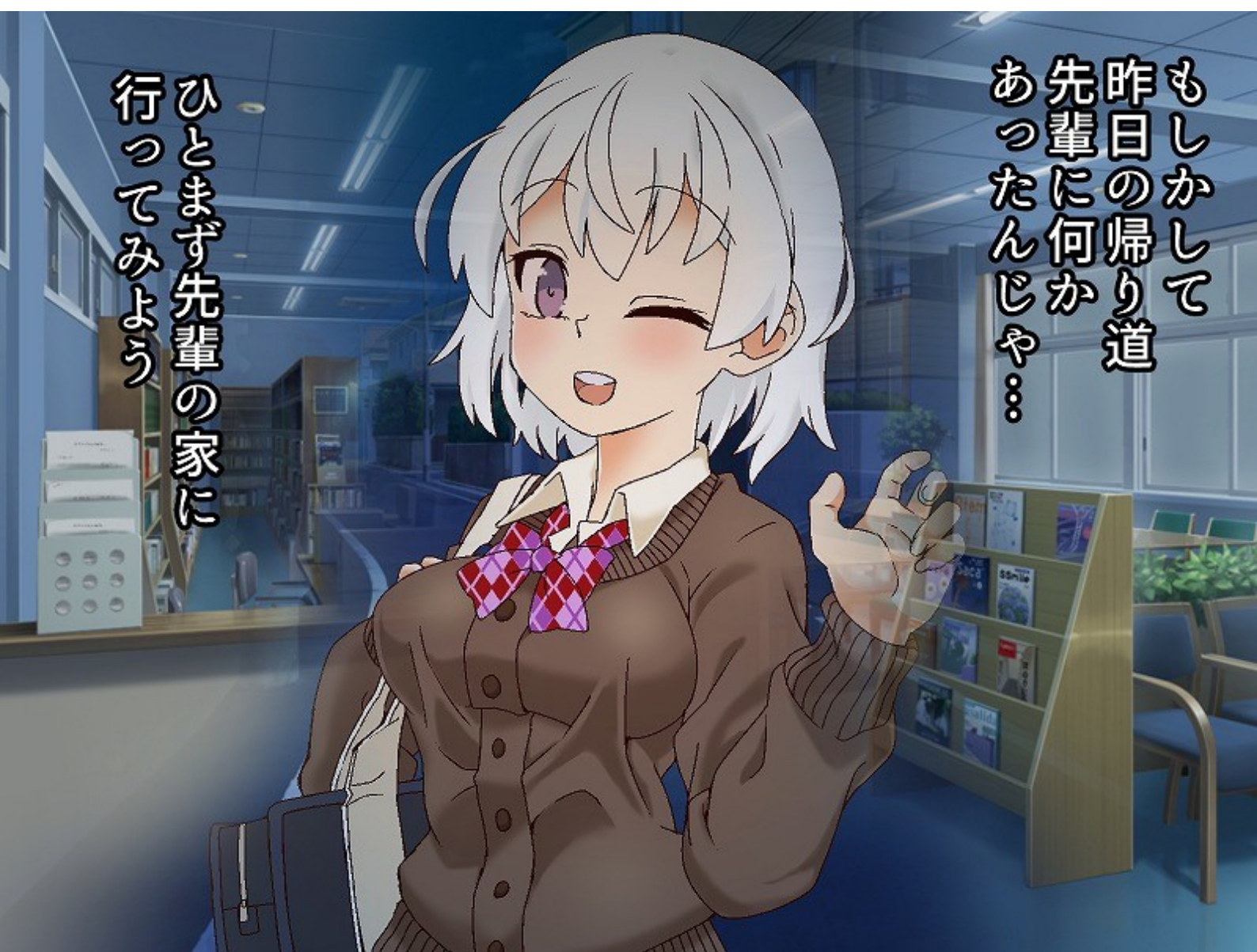
翌日の放課後
先輩は図書室に
現れなかった

おかしいな…
先輩が学校をサボる
とは思えないし
「ME」にも反応が無い…



もしかして
昨日の帰り道
先輩に何か
あったんじゃないや……

ひとまず先輩の家に
行ってみよう





先輩の家は留守だった

先輩……どこに
いるんですか……？

僕は何か手がかりがないか
昨日先輩と歩いた道を歩いていた
何でもいい……何かないのか……
……あれ？

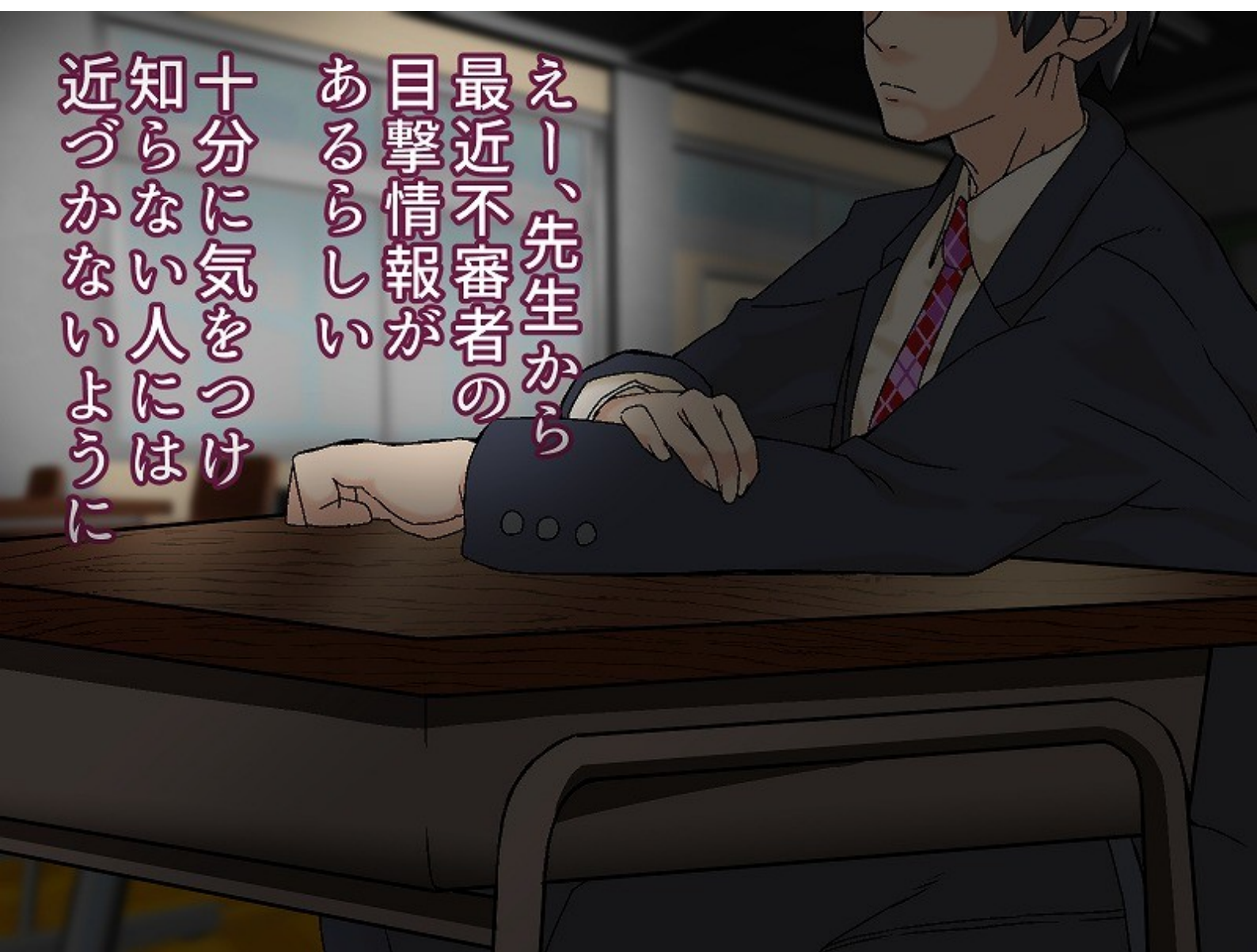


ふと横を向くと
何年も放置された
立ち入り禁止の
工事現場が
目に入った

入口の横には黒塗りの
ハイエースが1台
無造作に停められている

いつもなら気にも
留めないであろう
その景観を前に、
先生が数ヶ月前の
ホームルームで言っていた
事を思いだした

えー、先生から
最近不審者の
目撃情報が
あるらしい
十分に気をつけ
知らない人には
近づかないように



まさかそんな…
でももし…

先輩が誘拐されて
あそこに監禁されて
たとしたら…？

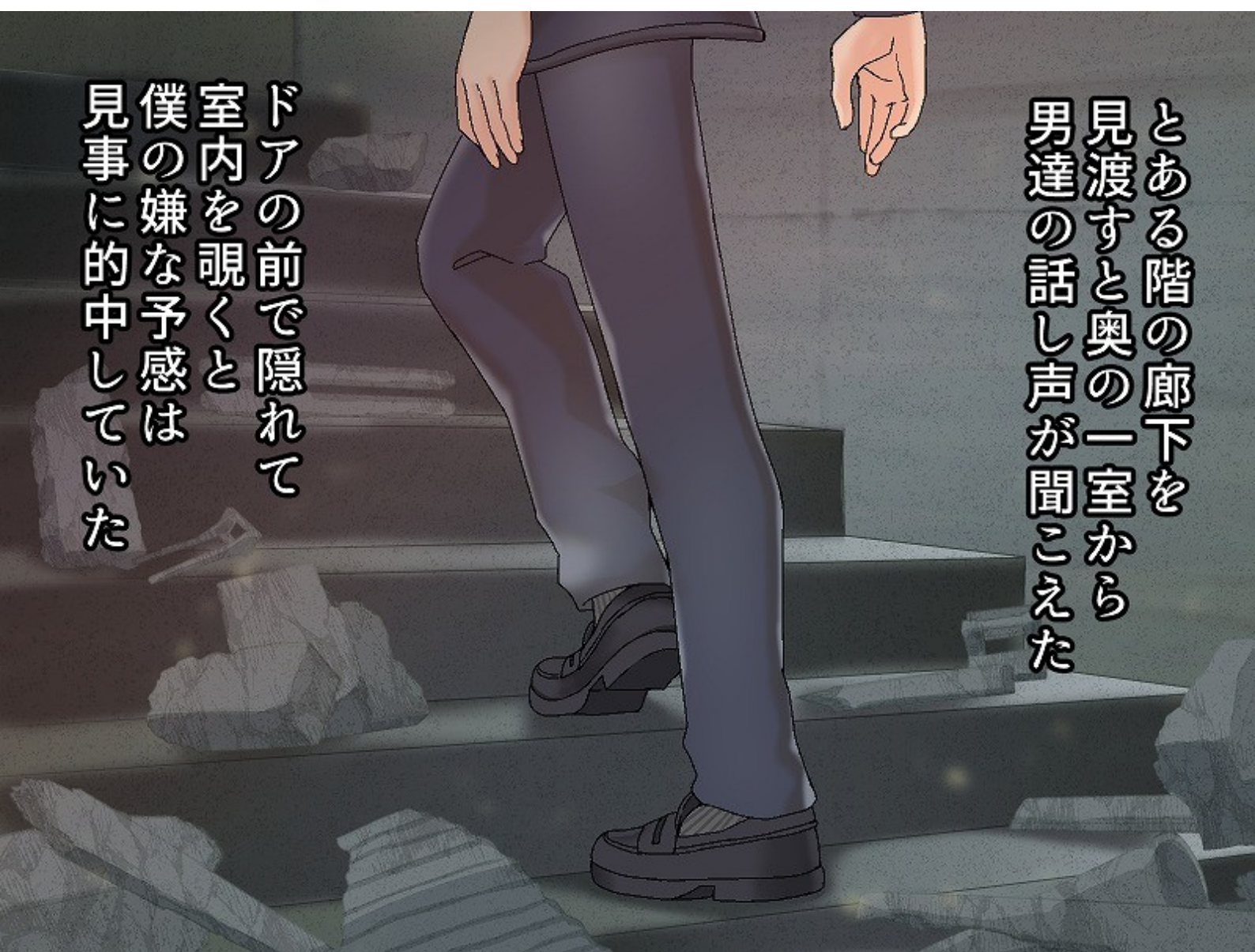
カッン…カッン…カッン…

僕は出来る限り足音を消して
廃ビルの階段を昇っていく



とある階の廊下を
見渡すと奥の一室から
男達の話し声が聞こえた

ドアの前で隠れて
室内を覗くと
僕の嫌な予感
は
見事に的中していた





それにしてもお前
いい女捕まえたな

いやー昨日夜道に
この女が一人で
歩いててさw
ちよつと声掛けたら
簡単に誘拐出来たわw





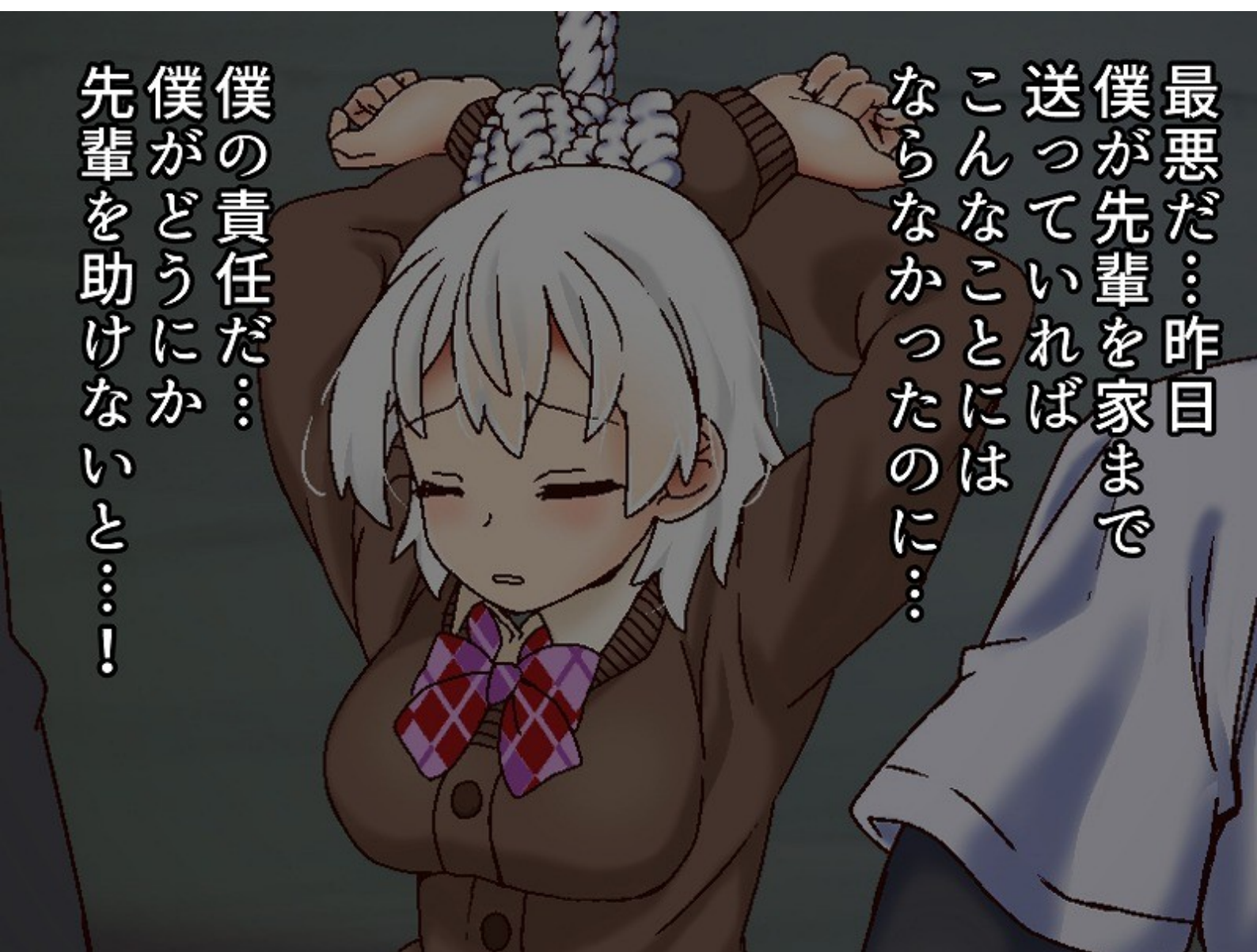
今は睡眠剤で
眠らせてるけど
もうすぐ起きる
んじゃないかな

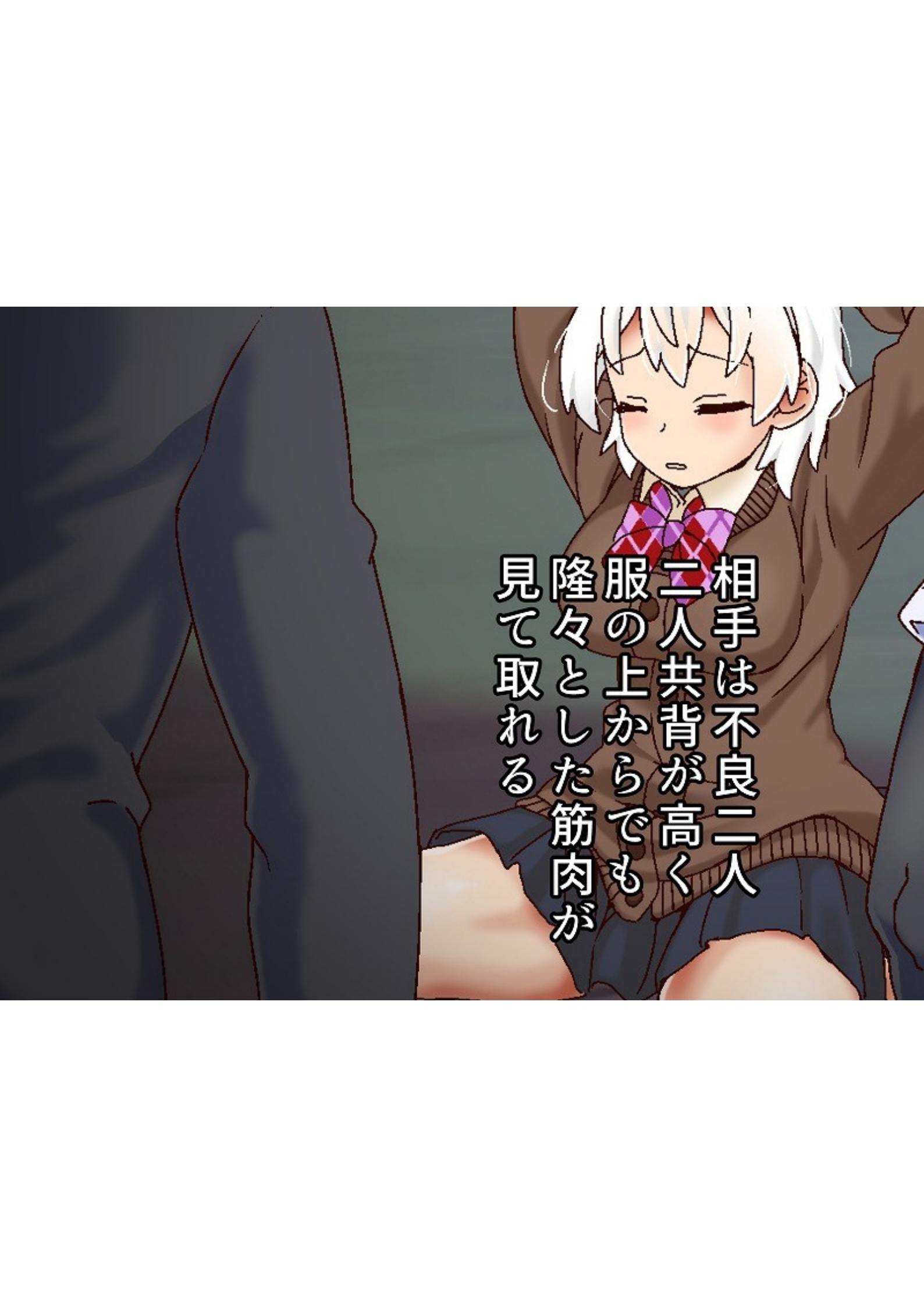
お前ガチの
犯罪者だな

いや、それ言ったら
お前もだろWWW

最悪だ：昨日
僕が先輩を家まで
送ってあげれば
こんなことには
ならなかったのに：

僕の責任だ：
僕がどうにか
先輩を助けないと：：！





相手は不良二人
二人共背が高く
服の上からでも
隆々とした筋肉が
見て取れる

格闘技やスポーツに
打ちこんだ経験もない
僕一人で到底勝てる
相手ではない

ムキ

ムキ

戻って警察を
呼ぶべきか
迷っていると
先輩が目を覚ました





チツ…
起きやがったか…

ここどこ!?
あなた達は誰!?
なんで私
縛られてるの!?



触らないで！
家に帰して！

オイ、静かにしろ





次に騒いだら
グロで殴る



分かってるって

顔は傷付けんよな
やる時に萎えちまう

ハハッ、利口な女だ
こういう女を黙らすには
こういう手が手っ取り早い

生徒手帳は一つと……
おっ、あったあった♪
久世……栞ちゃん？

駄目だよ栞ちゃん
夜道に一人で出歩いたら

彼氏とかに送って
貰わなきゃ





!?

そうそう
こんな風にね

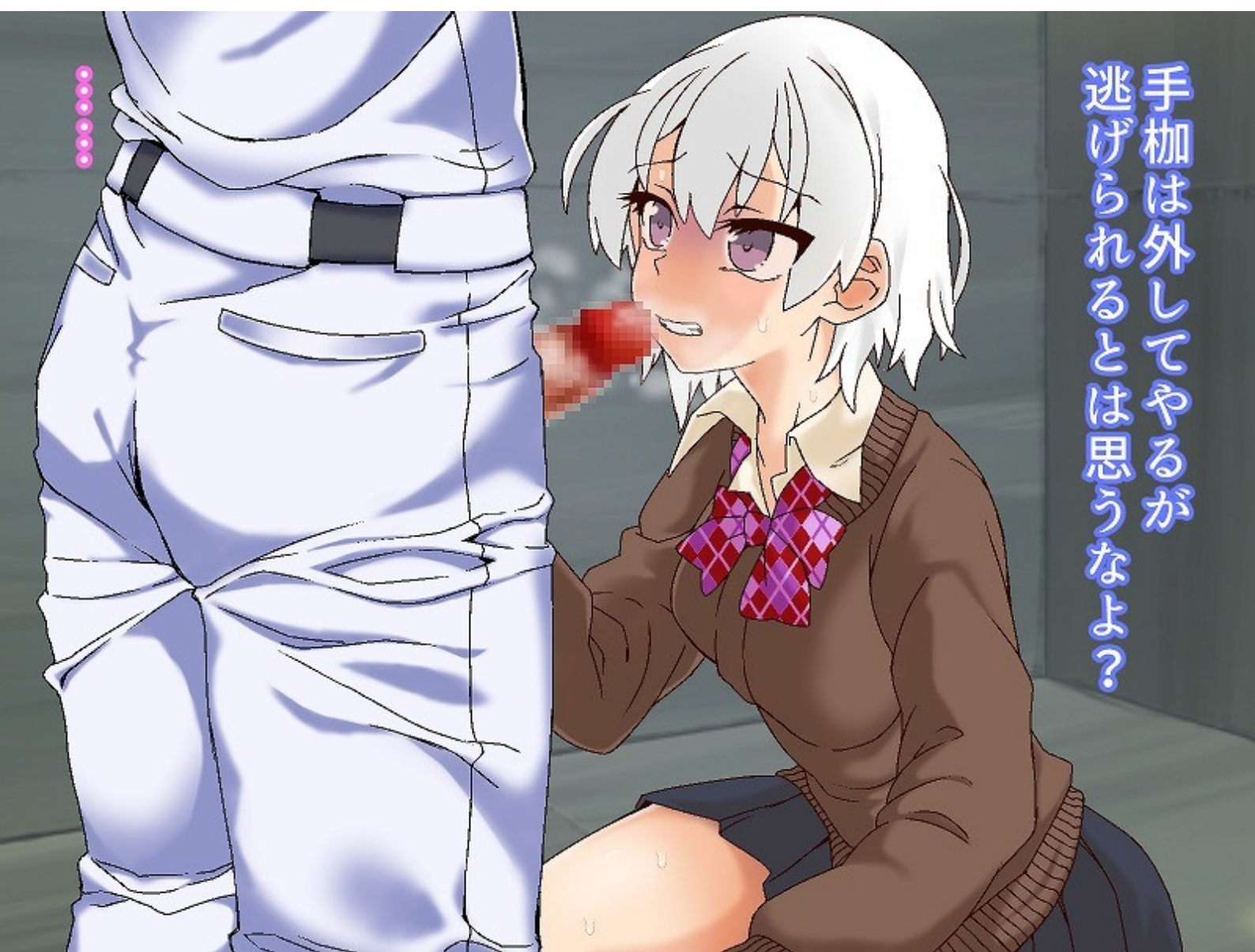
俺らみたいな
不良の性処理
として拉致られ
ても文句言え
ないよ?



安心しなつて
大人しく俺らの
性欲の捌け口に
なつてくれたら
解放してやるから

うっ…ひぐっ…
パパあ…ママあ…
後輩君…

手枷は外してやるが
逃げられるとは思うなよ？



へへ、それじゃあまず
これを啜えて貰おうかな



うっ：ツ！臭いっ！？
ちゃんと洗ってるの？

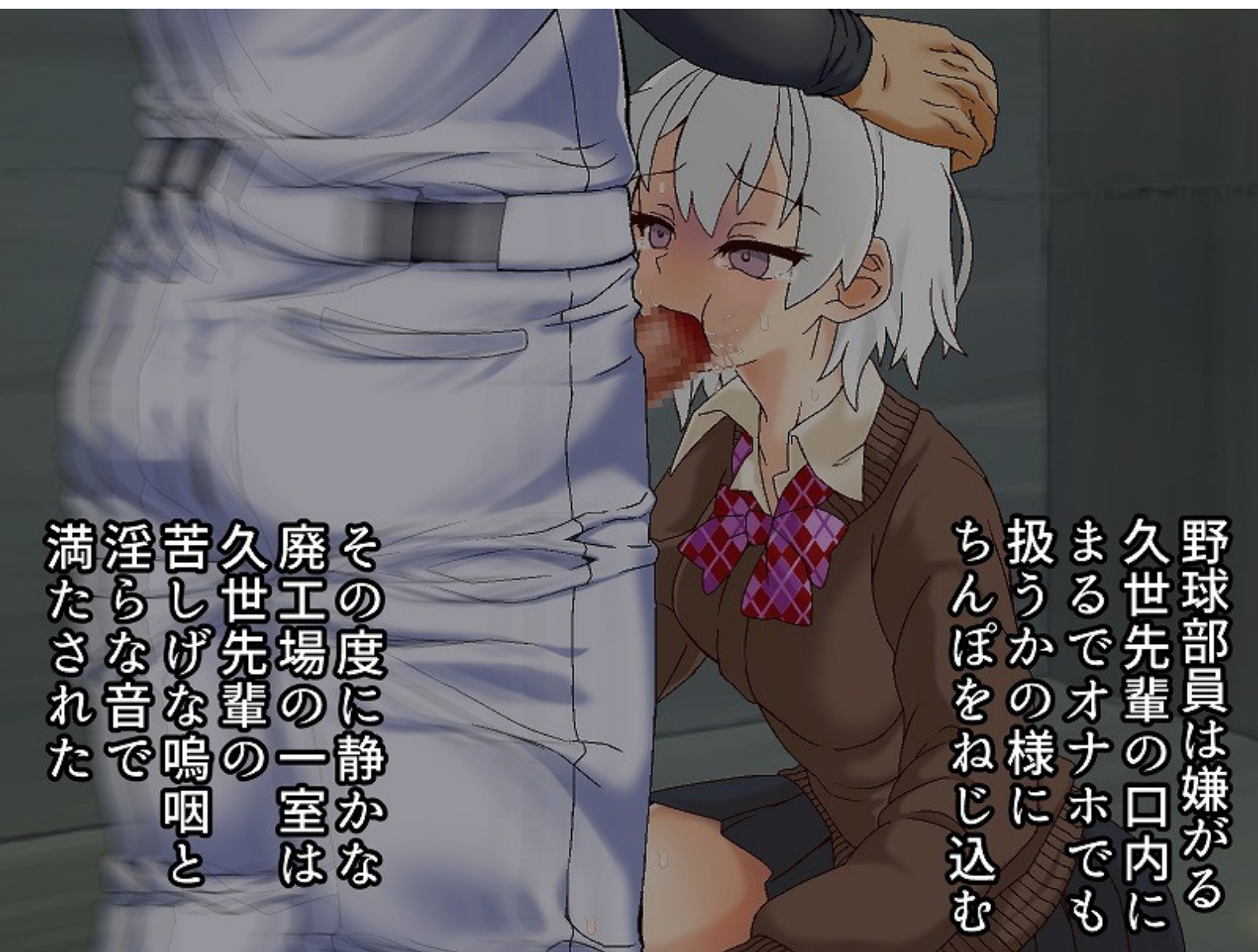
朝練で汗かいてずっと
蒸れっぱなしだからな
ほら、グダグダ
言っていないで口開ける





野球部員は嫌がる
久世先輩の口内に
まるでオナホでも
扱うかの様に
ちんぽをねじ込む

その度に静かな
廃工場の一室は
久世先輩の
苦しげな嗚咽と
淫らな音で
満たされた



ぐっぽぢゅぷぷっ
ぐぢゅじゅぽっ!

んっ!?

んっ!?

ぶぶぶっぢゅっぶ……っ

あの久世先輩が
僕の彼女の久世先輩が
不良のちんぽを
啗えさせられている
顔を掴まれ汚いちんぽを
無理矢理喉の奥まで
出し入れされている

はぁッ
ミッ!!

…ぶはっ!!
ちよつと
待ってよ!
息出来ない
んだけど!

はぁ
ミッ!!

ああ?んなこと
俺が知るかよ!
苦しいくらい
我慢しろっての
口オナホが喋ん
じゃねえ



んーっ!!
ぐぽっジュぽッぶぽっ

ぐぽ

かぽ

かぽ

ちゅぽ

オラ、休んでる
暇ねえぞ?
ちんたらしてたら
人が来ちまう
もしかして
見られるのが
好きなのかな? W

んなわけ。。。
らいれひよ!
ちゅぽッ!ちゅぽッ
ちゅぽぽ!ッ

ぽぽ

栞ちゃんの口の中やべー
JKのフェラテクじゃねーわ
ハーフっぽいけど
パパの外国ちんぽで
覚えたのかな？w

ぐぽっ……
あなた……それ以上
言ったら許さない！

んぶっぐぽっ!?

キッ





ちんぽ啜えながら
煽っても
全然怖くねーW
喋る余裕あるなら
もう少し強く
しても平気だよな？

あゝ栞ちゃんの口
ほかほかの
ヌルヌルで最っ高…

もうイきそうだわ
イクイクイク…
喉奥に出すぞ
溢すんじゃないぞ？











口開けて舌出せ



.....んあつ



うはっ♪

俺のザーメンと
栞ちゃんの唾液が
舌の上で絡まって
えっろ…w

そのまま溢さず飲め

……ふあい





(うう…気持ち悪い…)
(口の中がネバネバの
ドロドロ…)

(苦くてピリピリ
してるし臭いも変…)
(こんなの飲めない…)
(でも殴られるのも…)





!!!

んあ…ほら…
ひやんと飲んだ
わよ…おえ…

お願い…
もう帰して…



アアン？まだ俺らは
全然満足してねエぞ？

それじゃあ次は
制服脱いで
胸を見せる

いつイヤッ！
裸はまだ彼にも
見せてないのに……！！

イヤで済むわけねエだろ！
俺が脱がしてやるよ！





!?

インナー邪魔だな…
脱がすのも面倒くせえし
おい、ハサミ持ってこい



ぢ
ぎっ

ぢ
ぎっ

ぢ
ぎっ

ぢ
ぎっ

ぢ
ぎっ

ぢ
ぎっ

おっ♡ブラ
水色なんだ♡
かーわいーっ♡

それじゃあブラも
外してツと・・・





うう……
ひどいよお
ぐすっ……ひぐっ……

うはっ♪デツカ!?
Gカップくらい
あるだろこれ…



桜色のぷっくり乳首が
ビンビンになって
やがるぜ？

イヤイヤ言いながら
見られて興奮
してたんだな

ち、違うもん
無理矢理犯されて
興奮するわけない…ッ



それじゃあ揉ませて
貰うとしますか♡

うう…気持ち悪いよお
やだよお…ぐずつ…









それじゃあ
乳首の方も堪能
するとしますか♡

あーん♡





栞ちゃんの乳首
うんまつ♡

乳輪はむっちりもち肌なのに
乳首はピンピンのコリツコリ♡
舐めると唾液で
ピンク乳首がテラテラして
めっちゃエロいわW





いやあ…
気持ち…悪いよお…

身体くねらせながら言っても
感じてるのバレバレだしw
いつまでも吸ってられるぜ



ちゅーっ♡

やあ……ッ

そんな強く

吸っ
たら……ッ♡





あれあれ？W
もしかして
栞ちゃん今
軽くいった？W
乳首責められた？W
イっちゃった？W

この感度の良さ
絶対家で乳首
弄ってオナってる
でしょWWWW
栞ちゃんは
エッチだなあ







ほらほらWWW
栗ちゃんのおっぱい
気持ちよくしたんだから

今度はおっぱいで
俺のチンポを
気持ちよく
させてよ！WWW

うう…はい…



あーいいいいよ♡
ふわとろおっぱいで
俺のチンポ
埋まってる…♡



乳圧やべえ…

おっぱいの間が蒸れてて
汗とカウパー汁で
えろい音してんぞw

にゅちゅ♡

ぬちゅ♡

にゅちゅ♡

……ッ！



そうそう♪
縦にもテンポ良く
動かしてよ

栞ちゃんの乳は今
俺のオナホ
なんだからさ♡





やばい 射精そう…
彼氏持ちJKの
初物おっぱいに
ザーメン
射精る射精る
射精る…ッッッ！







(ん…青臭い)
(すぐくえっちな臭い…)

(飲まされた
次は全身に
かけられてる…)

(内側も外側も
くまなく雄の臭いで
マーキングされ
ちやつてる…♡)



あゝ気持ちよかった♪
おっぱい堪能したわWWW
どれ下の具合は
どうなってるかな？
パンツ脱いで
ケツ向ける

うう...



おマンコとるっとなるWWW
おっぱいだけでどんだけ
感じてるんだよWWW

ひい♡
てい♡
トロオ...

感じて...ないもんツ



…あんっ♡

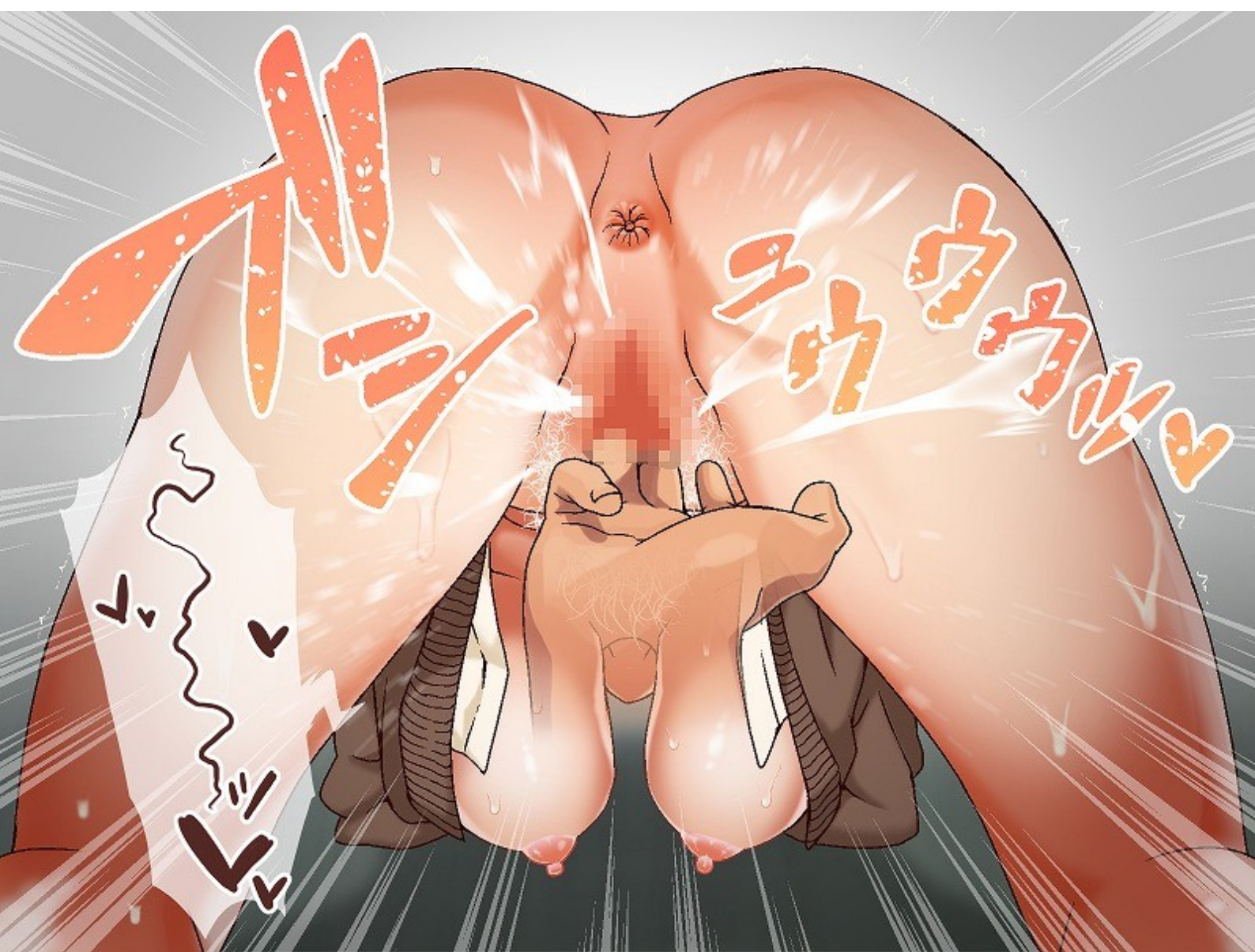
嘘は良くないなあ？
ほらもう指が2本も
入っちゃったよ？？

ふふふ…

やあ…
指入れないでえ…ツ♡

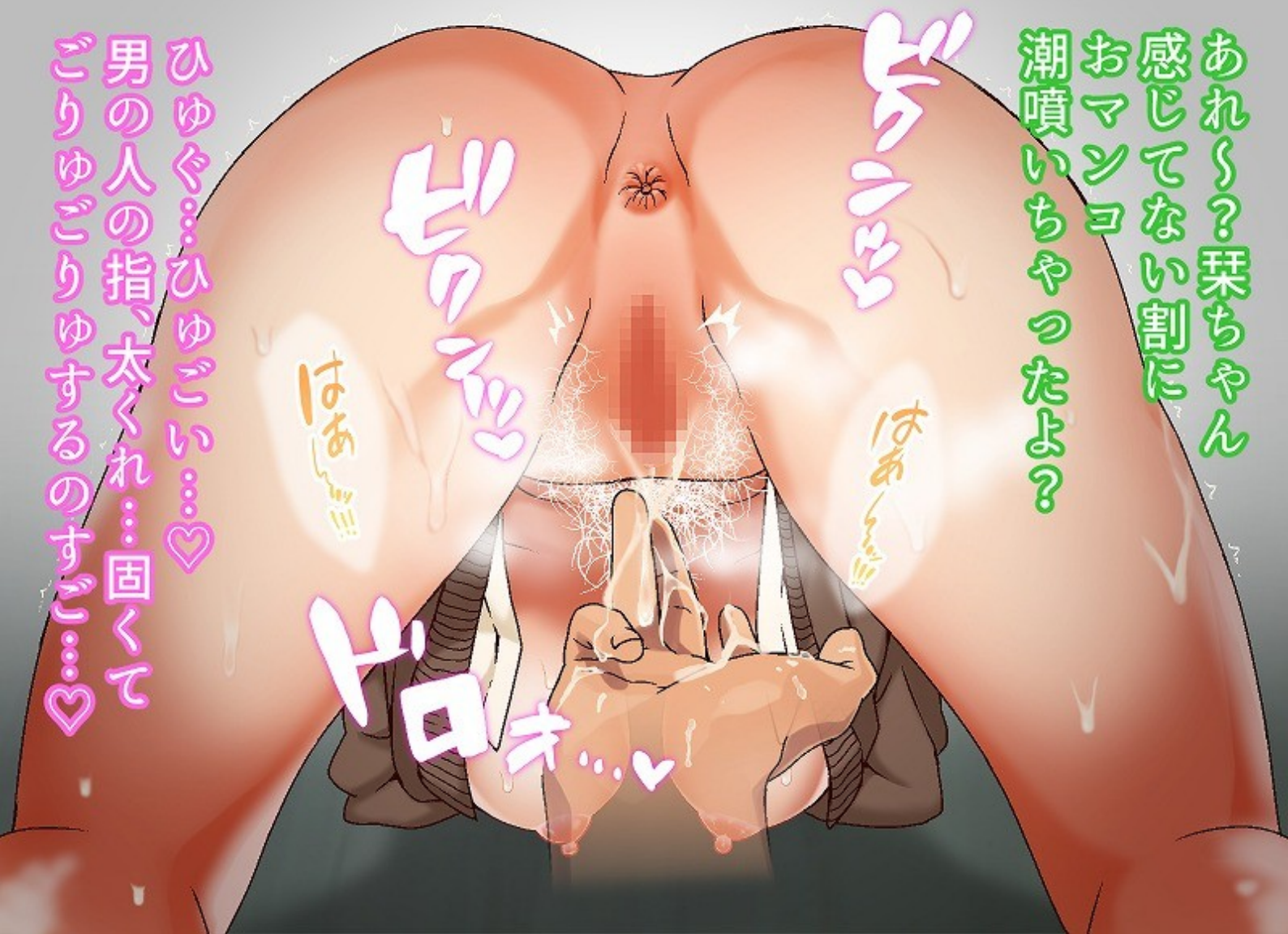






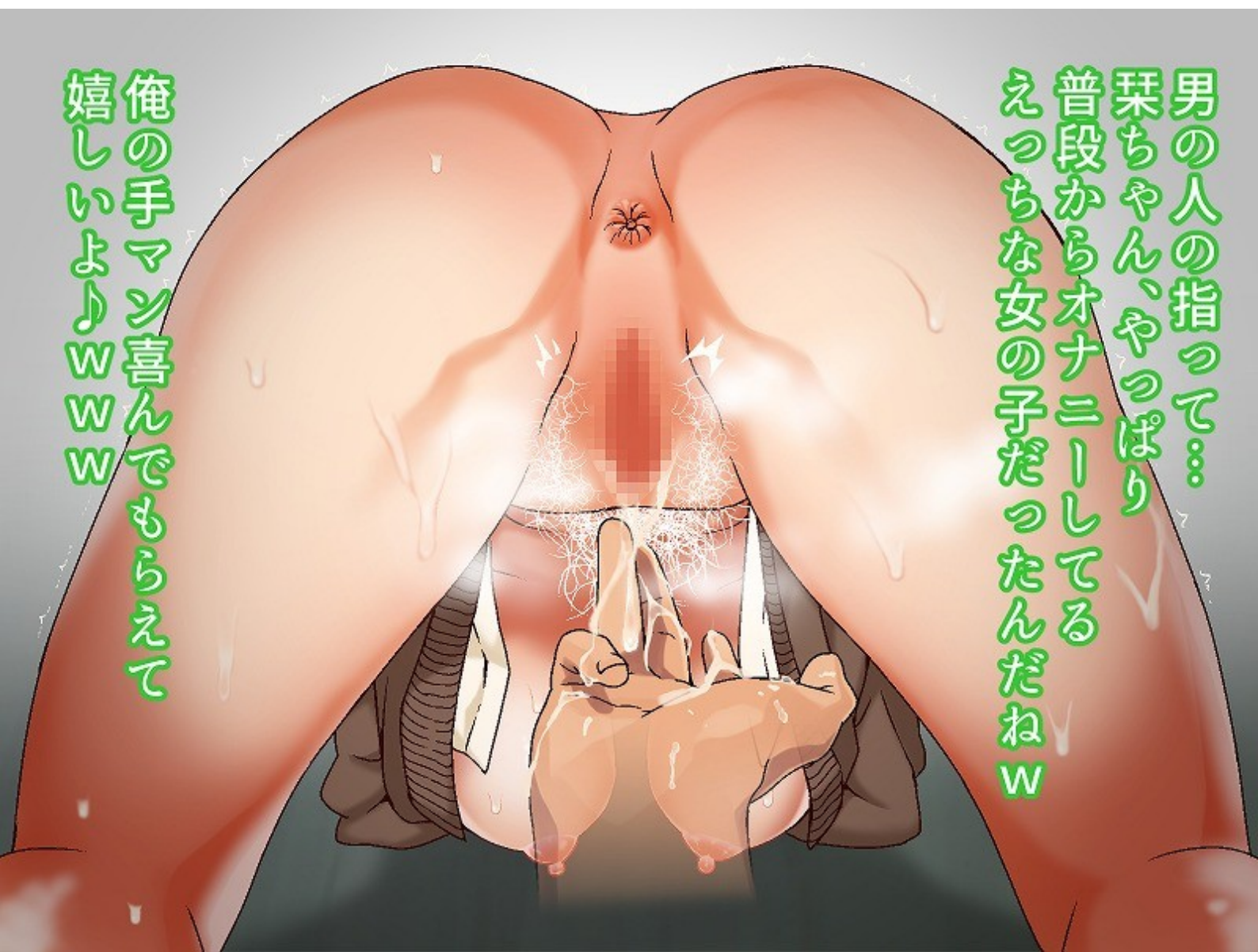
あれ〜？栞ちゃん
感じてない割に
おマンコ
潮噴いちゃったよ？

ひゅぐ…ひゅごい…♡
男の人の指、太くれ…固くて
ごりゅごりゅするのすげ…♡



男の人の指って：
栗ちゃん、やっぱり
普段からオナニーしてる
えっちな女の子だったんだねW

俺の手マン喜んでもらえて
嬉しいよ♪WWW



それじゃあ
挿入れると
するか

!!



やだあ！
初めては
後輩君って
決めてるの！

マンコ
びちゃびちゃに
しながら言っても
説得力ないってのw
大人しくしろ

ヤダ！ヤダ！
入れないで！
離して離：！！







やあっ!!
痛い痛い!!
抜いてよオ!!

うええん...後輩君に
あげる筈の処女が...
散らされちゃってるよお!

びしょ

びしょ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ



ん？もしかして
栞ちゃんここ
挟まれるの好き？w

そ、そんなこと...

グ
グ
グ

グ
グ
グ

おん
おん
おん

やっぱり
ここだけ反応
違うもんね？
重点的に
攻めてやるよ





栞ちゃん
分かりやす過ぎWWW

喘ぎ声もかわいいね
もつと聴かせてよW



（ダメなのに…
こんなの感じちゃ
いけないのに…）

（おまんこが
勝手に
キュンキュン
しちゃうツ）

（無理矢理される
のもだんだん
気持ちよく
なっちゃってる…ツ）



そうだ、栞ちゃんの
スマホでお父さんに
ムービー送ろうぜ？

「こんなえっちな
変態娘に育ちました♡
ってさ♪」



!?





やらやららあっ!!
栞えつつちじゃ
らいもんツ!!
撮らないでえッ
いじわる
しないでえ!!

アアア
ンンン
ツツツ
♡♡♡

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

あゝ俺そろそろ
射精そうだ……ッ!!
特濃ドロドロ
精子射精る……ッ
膣内に出すから
一滴も残さず
受け止めるよ……ッ!!

え!?!
ダメダメダメ!!
抜いて!膣内はダメ!
赤ちゃん出来ちゃうからア!!

110

110

110

110

110

110



奥までたっぷり注いで
孕ましてやるよ
まあ産んでも俺は
育てないけど？w

彼氏君より俺の
子種の方が多分
遺伝子も優れてる
だろうし？www

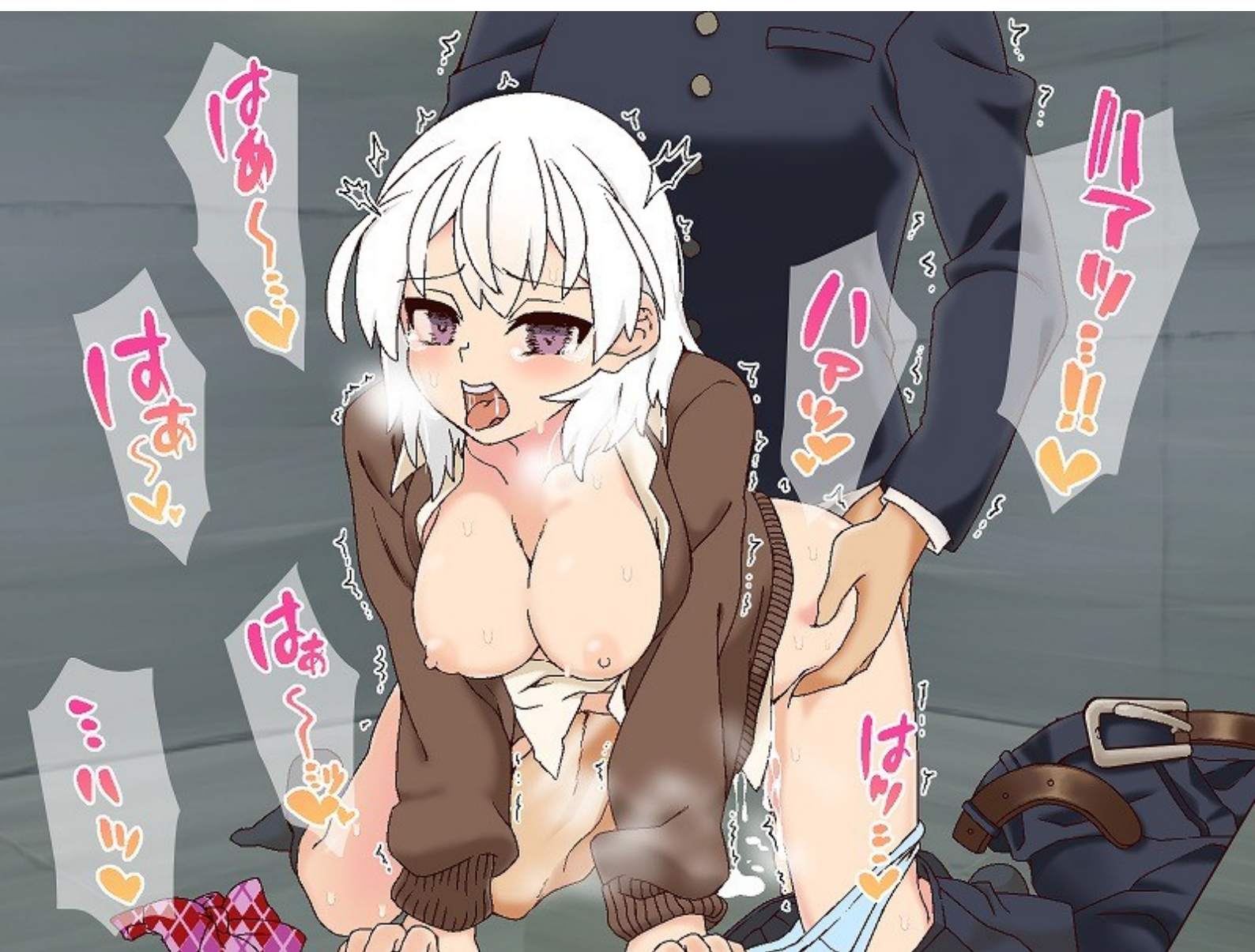
オラッ
射精すぞ!!

やらあ...!!
膣内やだあ...!!









あゝザーメン
めっちゃ射精る…♡
彼氏持ちJ×の
膣に無許可
生膣内射精最高♡
射精しても
射精しても
膣がチンポに
吸い付いてくる…ツ

無限にザーメン
搾り上げられる
こんな名器の味
覚えたら普通の
オナホには戻れ
ねえ…♡

ああ…お腹に熱いの
ドクドク射精てる…
膣内はダメって
言っただのに…
初めては後輩君って
決めてたのに…

あゝ満足
したわ…♪
次お前も
いけよ



おっ言われる前から
発情期の雌犬みてえに
腰あげてやがるW
アイツとのセックスじゃ
満足出来なかったのか
可哀そうにW

いやいやよく見るよ
栗ちゃんマンコ
パクパクさせて
雌イキアクメキマリ
まくってるだろW
WWW



ちよつと待つて…
お願いだから休ませて…

イってるところ悪いけど
俺のチンポの相手もして
貰わないとなあ？
オラ、挿入れるぞ？





あああああッ!♡

んんん

す

うわっ!
マジにきつっ!



ああっ!!
今はダメえ♡
イっただばっかで
敏感だからっ♡

これ以上は
イっちやっう
からあっ♡
気持ちよすぎて
壊れちゃう
からアツ!♡

栞ちゃんめっちや感じてんじゃん
素直な栞ちゃんかわいいよ
もっと一緒にえっち楽しもうね?

あ



俺の高速ピストン
気持ちいいだろ？
我慢しないでもって
喘ぎ声聞かせてよ！
w

あんっ♡
あぐっんっ♡
届いてるッ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

チンポ奥まで届いて
気持ちいいところ
ごりゅごりゅされる度に
頭チカチカしゅるのお！！♡

あ



頭真っ白に

なっひやう!!♡

栗の頭ばかに

なっちやうう!!♡

1人でオナニー
してるよりも断然
気持ちいいだる?

うんっ♡ひゅごいよお!

指じや届かないところ

カリがゴリゴリ抉って...

一人でするのの100倍

気持ちいいよおお!♡♡♡

あ



（トんじゃう♡
初めてなのに…
処女なのに…♡）

（レイプ魔のチンポで
雌の本能を
分からせられて
連続チンポアクメ
きちやう♡）

（こんなの
絶対ダメなのに…
イっちやう…！♡
イっちやう…♡

（栞のおマンコ
せーえき求めて
疼いちゃう
よおおお！♡）

ごめんね…
後輩君…

くっ…めっちゃ締まる…
俺もいつちまいそうだ

らひてっ？らひてっ？
栗のいけない
浮気おマシヨに
お兄さんのせーえき
いっぱい射精して？♡

アッ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

栗の膣内に
びゅーってして？♡

ぐあっ…

射精る射精る射精る…

あ







ああっ射精てる…♡
ドロツドロの
特濃せーえき
出されちやってる♡

こんなに濃い
奥に沢山出されたら…
妊娠しちゃうよ♡♡♡



仕上げは顔に
射精して
マーキング
してやるよ

ちよーらいっ♡
おにーしやんのせーし
栞の顔にかけてっ♡









ふう〜射精た射精た♪
へへへ、どうだった？
俺らのチンポの味は？

サイズもテクも多分
彼氏よりいいと思うぜ？www

うんっ♪
気持ち良かった♡
後輩君じゃこんなの
絶対無理だよ♡

おにーしゃん達のちんぽ
だーいすきっ♡





（ガタタツ）

ん？今なんか音しなかったか？

さあ、気のせいじゃねWWW
それじゃあ栞ちゃん
このままホテルでも行こっか



シャツもセーターも
買い直してあげようね♪

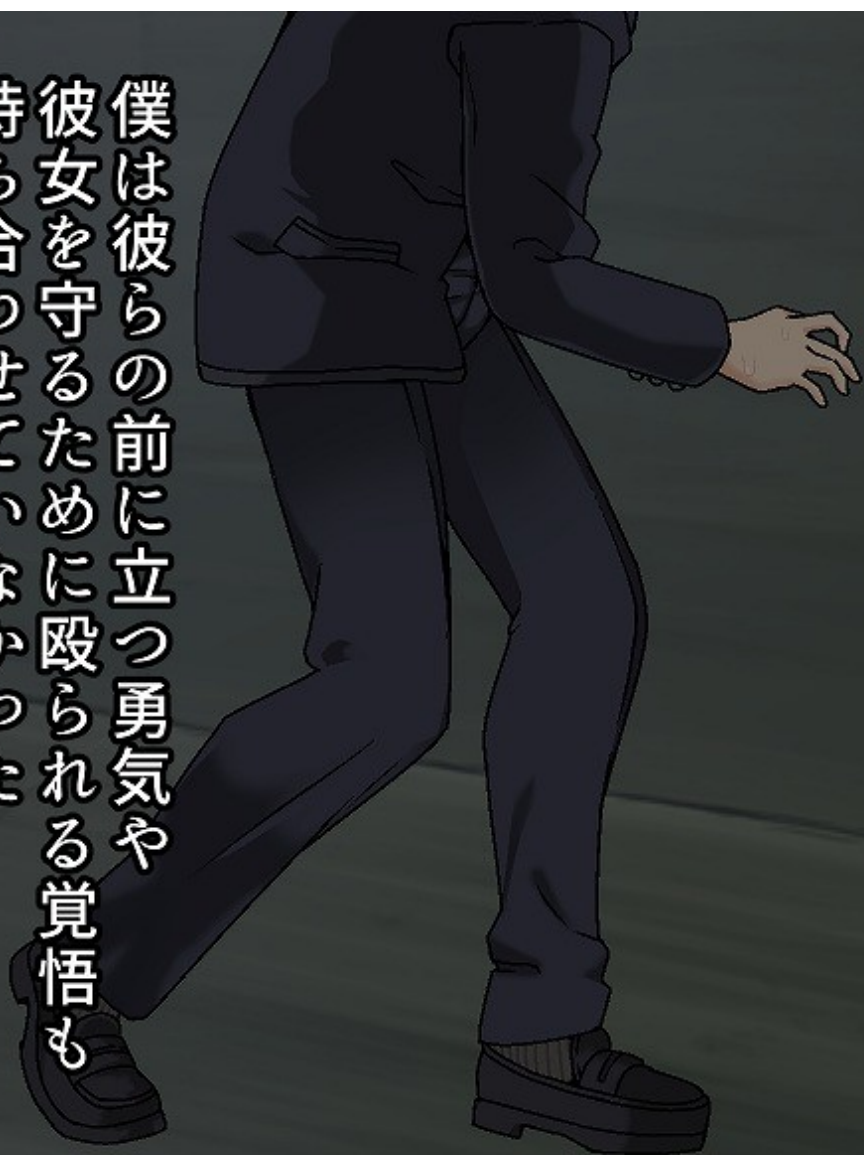
うんっ♪



僕は魂が抜けたかの様にその場を
後にする

僕は彼らの前に立つ勇氣や
彼女を守るために殴られる覚悟も
持ち合わせていなかった

僕には初めから先輩の彼氏になる
資格なんてなかったのだ



そんな僕を愛してくれた
久世先輩ももういない



久世先輩は僕の彼女ではなくなり
彼らのチンポケースに堕ちたのだ

そうだ
帰ってアニメでも観よう…



こんな僕でも受け入れてくれる
仮初めの世界に逃避して
全てを忘れてしまおう…

久世先輩が目の前で犯された
というのに僕のチンポは怒張し
憐れにパンツに射精していた

いっわあ...





後輩君後輩君ッ
この本なんかオススメだよ！
推理小説なんだけどね

犯人主観で探偵の捜査を
掻い潜るんだ!!

しかも最後がすつごくてね！
。。。。。。



おしまい